

認知症の人を地域でささえあう体験会を開催

11月17日、泉ヶ丘体育館で認知症の人を地域でささえあう体験会を行ない124人の参加がありました。有限会社ひとちいき計画ネットワーク、代表取締役佐伯謙介さんの講演会があり、地域づくりにおけるネットワークの構築についてみんなで考えました。認知症の人への声のかけ方を学んだ後、実際に6

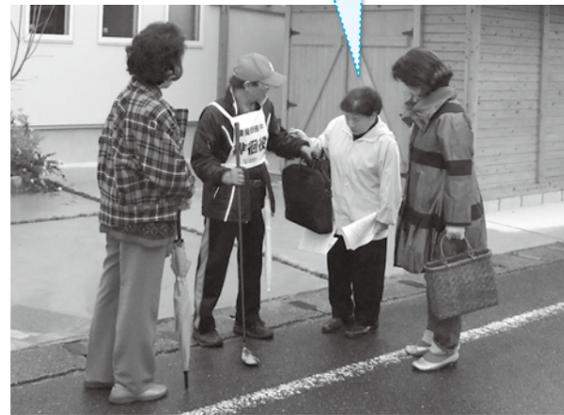
人の徘徊役を搜索する「徘徊模擬訓練」を行ないました。南ヶ丘小学校区をみんなで歩き、声かけや徘徊者発見時の伝達訓練をしました。参加者からは、「声をかけるのが難しかったです」「認知症の人への対応方法など、勉強になりました」「質問に苦労しました」などの意見がありました。

今日は寒かですね、どっかいきよなはったですか？



ゆっくり相手に近づき視野に入ってから、なじみの言葉で話しかけます

こんにちは、私はすぐその〇〇です。どこからきなはったですか？



目線をあわせゆっくりと話かけます

認知症の人への声かけの仕方

訓練では、認知症の人への声かけについても学びました。認知症の人は突然声をかけると驚かれます。それを難しいと感じるかもしれません。でも、うまくいなくても大丈夫です。声をかけてくれたことが、本人には大切なことです。正解、不正解よりも、心をこめて声かけをしてみてください。

具体的な対応のポイント



◆望ましい声かけ方

- ・ ゆっくり近づく
- ・ 相手の視野に入ってから話かける
- ・ 目線を合わせゆっくりと穏やかな口調で
- ・ 少しゆっくり歩きながらやさしく声かけを
- ・ わかりやすい簡潔な言葉で
- ・ 一つずつ話かける
- ・ 答えをゆっくり待つ
- ・ 笑顔で相手のペースに合わせる
- ・ なじみの場所や土地（方言）の言葉を使う

◆声かけ例

- ・ 「こんにちは」「寒いですね」など、ごく普通にあいさつから。
- ・ 「私はすぐその〇〇ですが、どこからいらっしゃいましたか」「どこへ行かれますか」「何かお困りですか」「大丈夫ですか」「何かお手伝いしましょうか」「少し休んでいかれますか」「お茶でもいかがですか」などと声かけ、少し座るように促す。

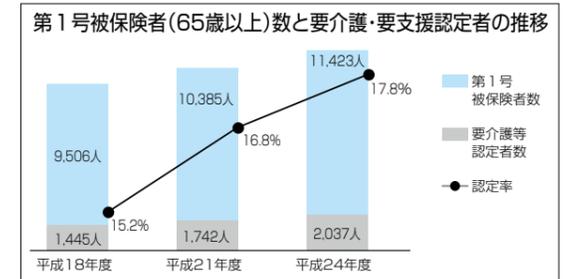


住み慣れた地域ですっと生活していくために

～合志市介護保険の現状～

高齢化の進展などにより 介護・支援を必要とする人が増加

高齢化の進展や介護保険制度の定着などに伴い、要介護（要支援）認定を受ける人が増えています。認定率（第1号被保険者に占める65歳以上の認定者の割合）は平成24年度17.8%で、熊本県より1.8ポイント下回り、全国を0.5ポイント上回っています。また、介護度別の内訳は軽度（要支援1・2、要介護1）の人が認定者数の約半数を占めています。



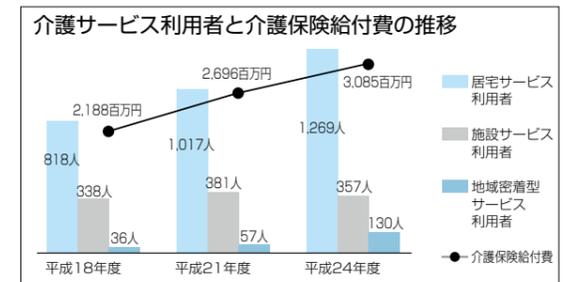
介護サービス利用者・介護保険給付費は今後も増加の見込み

平成24年度介護サービス利用者は1,756人（要介護認定者の約86%）で、居宅でのサービス利用が全体の約72%を占めています。主に「訪問介護」「通所介護」「福祉用具貸与」サービスを利用しています。また、平成24年度の介護保険給付費（介護サービスに必要な費用から利用者負担金を除いたもの）は約30億8千5百万円で、平成18年度の約1.4倍になっており、今後も増加が見込まれます。

年度	要支援		要介護					総数
	1	2	1	2	3	4	5	
18年度	185	202	280	259	204	184	131	1,445人
21年度	195	253	379	264	238	221	192	1,742人
24年度	231	308	426	346	245	274	207	2,037人

いつまでも元気でいるために

増加する介護保険給付費を抑えて介護保険料への影響を少なくするために、市では要介護状態にならないための介護予防事業を推進しています。



弁天元気クラブ教室

元気で若々しい身体を保つために、みんなで体を動かしてみませんか。

- **と き** 平成26年1月～3月の3カ月間 週1回 午前10時～午後1時30分
- **と ころ** ユーパレス弁天2階トレーニング室（希望者は送迎あり）
- **内 容** 筋力トレーニング・ストレッチ・脳トレーニング・健康チェック・健康入浴・食事・口腔ケア・栄養指導など
- **対 象** 65歳以上の市民で、介護保険を利用していない人 20人
- **参加費** 700円(昼食代含む) 昼食を取らない人は200円のみです。早く帰る場合、送迎はありません。
- **申し込み・問い合わせ先** こうし高齢者相談センター ☎242-1124